

耐暑性抜群の夏用晩生品種

えんか

艶夏 コマツナ

新発売



ここ数年来、夏場の酷暑の影響でコマツナの栽培が苦戦してきました。しかし、「艶夏」を使用した生産者からは「秀品率が高い」、「収穫にゆとりがもてる」など従来品にはないメリットを最大限生かすことができました。

生育じっくり!(在園性が高い) 秀品率が高い!(カッピングが出にくい)



▲ハウス栽培での立毛の様子。遮光なしでもカッピングが非常に少ない。(8月10日撮影)

品種	カッピング程度	
	調査区①	調査区②
艶夏	なし	なし
他社S	多	多
他社M	中	中
他社N	少	少
他社I	少	極少
他社K	なし	極少

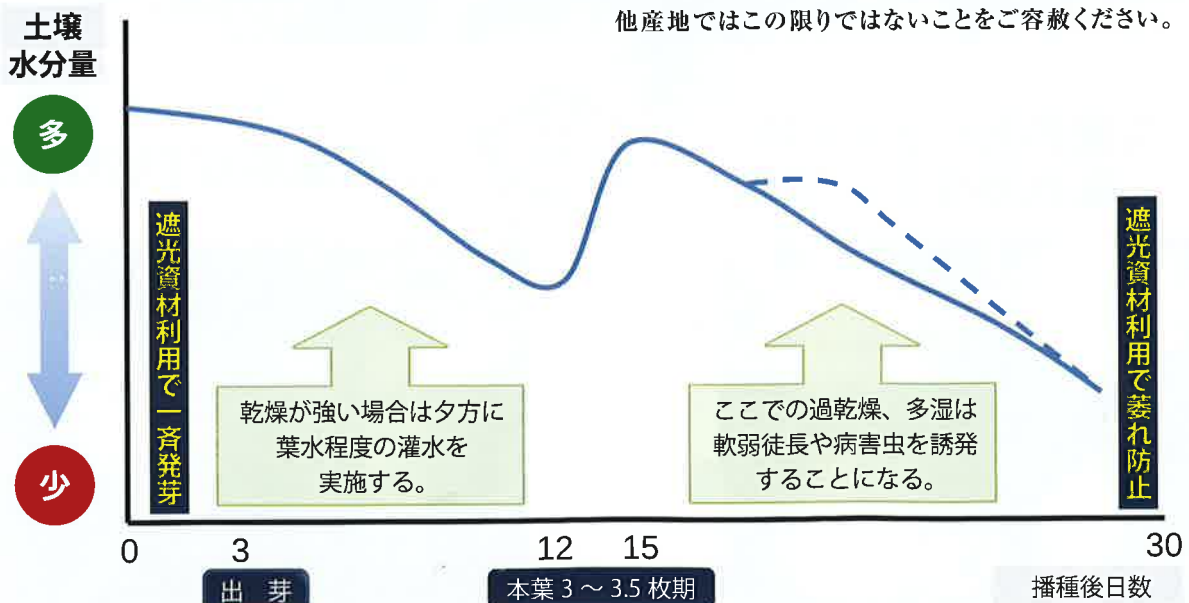
炎天下にはハウス内の温度が50℃近くになり、多くの品種が暑さ(乾燥)に耐えられず、カッピング症状が発生してしまいます。しかし「艶夏」はこのカッピング症状が非常にに出にくい品種です。



カッピングに強い「艶夏」 カッピングの多い他社品種

栽培のポイント

灌水方法のイメージ図



「艶夏」は酷暑期の新しいスタンダードへ